

1. 事業の概要

自動車から発生する排出ガス、騒音を低減することを目的として、自動車単体規制の強化など必要な対策を実施してきている。

今後、これまでの規制の強化による排出実態の変化を踏まえつつ、走行実態・排出実態をより反映させた排出ガス試験法について検討する必要がある。また、最近においては、PM2.5など微小排出粒子の排出実態の把握やこれに応じた対策が求められてきている。さらに、化学物質の健康影響に関する知見の蓄積を踏まえて従来の物質以外の有害物質の排出実態の把握も必要となってきたほか、地球温暖化対策の柱の一つであるバイオ燃料の使用拡大による有害物質の排出増加の可能性もあり、これら現行において規制されていない有害物質の排出実態を把握する必要がある。

また、騒音については、環境基準達成率は未だ十分ではなく、苦情も減少していない状況である。このため、平成20年12月の中央環境審議会中間答申に基づき、走行時の騒音試験方法・規制値の見直しやタイヤ単体騒音規制等について検討するため、走行実態、現行の騒音試験法では評価できない騒音やタイヤ単体からの騒音の実態を把握する必要がある。

上記の実態調査結果を踏まえ、必要に応じ、現行規制の強化や見直し、新たな対策の検討を行い、自動車から発生する排出ガス、騒音の更なる低減を図る。

2. 事業計画

調 査 項 目	H21	H22	H23	H24以降
ディーゼル自動車等排出ガス低減施策検討調査				→
自動車からの有害大気汚染物質排出実態調査				→
自動車から排出される粒子状物質の排出特性実態調査				→
バイオ燃料使用時の未規制物質の排出実態調査				→
タイヤ単体騒音実態調査			→	
重量車の排出ガスモードの国際基準調和に関する調査			→	
騒音試験条件外における自動車騒音実態調査			→	

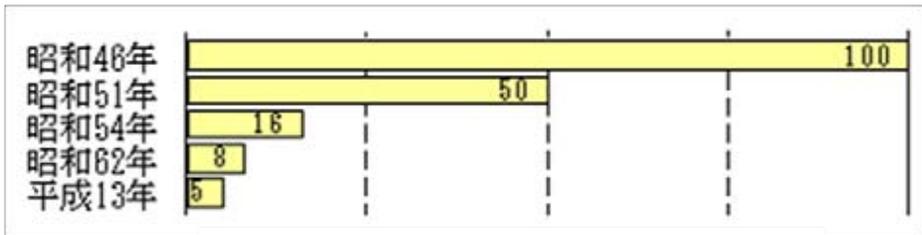
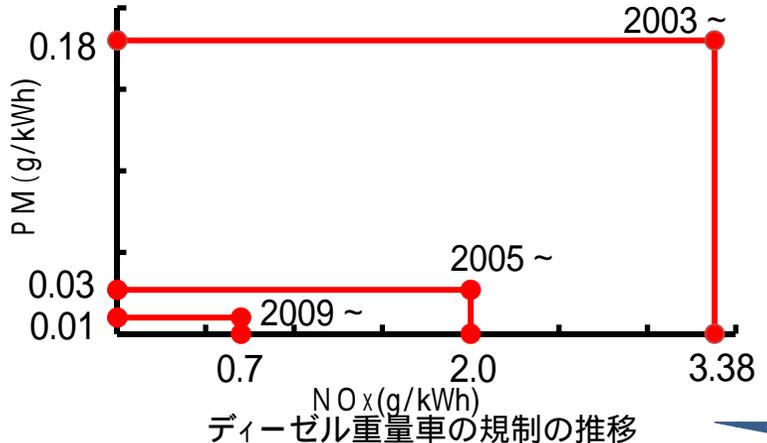
3. 施策の効果

自動車から発生する排出ガス、騒音の更なる低減が図られる。

自動車公害実態調査・対策検討費

自動車から発生する排出ガス、騒音を低減することを目的として、自動車単体規制の強化など必要な対策を検討するための経費。

これまで、実態調査、技術開発動向調査、試験等を実施し、排出ガス、騒音規制の強化等の対策を実施。



これから、現行規制の強化の他、様々な課題について検討を行う必要がある。

【排出ガス規制】

現行規制の強化・見直し、その効果等を検討するための調査

- ・ディーゼル自動車等排出ガス低減施策検討調査
- ・重量車の排出ガスモードの国際基準調和に関する調査

未規制物質の排出実態の調査

- ・自動車からの有害大気汚染物質排出実態調査
- ・自動車から排出される粒子状物質の排出特性実態調査
- ・バイオ燃料使用時の未規制物質の排出実態調査

【騒音規制】

現行規制の強化・見直し、新たな規制を検討するための調査

- ・タイヤ単体騒音実態調査
- ・騒音試験条件外における自動車騒音実態調査

更なる排出ガス・騒音の低減